

三芳町総合計画

令和4年度 住民参画事業実施報告書

令和5年2月

目次

1 実施概要	1
2 プログラム概要.....	1
3 各回結果詳細.....	4
第1回：三芳町ってどんなまち？	4
第2回：未来の三芳町を想像しよう！	7
第3回：未来の三芳町を描いてみよう！	12
第4回：理想の三芳町を提案しよう！	20
次世代リーダーミーティング：未来に向けたアクションを考えよう	25
4 今後の結果反映について.....	28

1 実施概要

令和4年度の住民参画事業として、以下の通り、まちづくりワークショップを実施しました。

実施目的	総合計画新体系で想定される分野別ビジョンに関するご意見の検討
実施時期/ 参加人数	令和4年10月～令和4年12月まで計5回
	【まちづくりワークショップ】 第1回：10月8日（土） 10：00～12：00 23名 第2回：10月22日（土） 10：00～12：00 27名 第3回：11月19日（土） 10：00～12：00 23名 第4回：12月3日（土） 10：00～12：00 21名 【次世代リーダーミーティング】 次世代リーダーミーティング：11月5日（土） 10：00～12：00 12名
実施時間	1回につき2時間
実施場所	三芳町役場 3階会議室

2 プログラム概要

第1回	テーマ： 三芳町ってどんなまち？
	目的： ●今感じる三芳町の良さを改めて考える 実施内容： ・総合計画とは何か、これから三芳町はどのような総合計画づくりを目指すか（幸せ・ウェルビーイングについて） ①三芳町の好きなところビンゴ ②ビンゴシートに書きこんだ三芳町のいいところを分類
第2回	テーマ： 未来の三芳町を想像しよう！
	目的： ●三芳町の現状と課題を挙げる ●現状と課題を踏まえ、起こる未来を想像する 実施内容： ・三芳町を取り巻く統計データ等を用い、現状を説明 ①三芳町の現状と課題をワールドカフェ形式で話し合う ②①で出たご意見を踏まえ、三芳町の未来に起こりそうなことを「ポジティブ/ネガティブ」「近い未来/遠い未来」の2軸で分類

第3回	テーマ：	未来の三芳町を描いてみよう！
	目的：	●将来ビジョンの提案に向けて、各分野におけるキーワードを考える
	実施内容：	<ul style="list-style-type: none"> ・町の未来に影響を与える社会状況について説明（気候変動、SDGs、デジタル化の推進等） ・6つの分野に分かれ、各分野において「この分野ではどんなまちを目指すと、より多くの住民が幸せを感じられる暮らしが実現するか」について検討 <p>①各分野で幸せな暮らしが実現するために必要なことは何かピックアップし、グループ分け</p> <p>②どんな取り組みが必要か検討</p>

第4回	テーマ：	理想の三芳町を提案しよう！
	目的：	●将来ビジョンを各班で検討し、提案する
	実施内容：	<p>①第3回の結果を踏まえ、「幸せを感じられるまち」につながるキーワードを挙げる</p> <p>②「〇〇なまち」ということばにまとめ、ワークシートに記入</p> <p>③「〇〇なまち」の実現に向けて、自分が町長ならどんなことに取り組むか。</p>

次世代リーダーミーティング	テーマ：	未来に向けたアクションを考えよう
	目的：	<ul style="list-style-type: none"> ●若手の視点から見た三芳町の共有 ●若手リーダー同士のつながりづくり
	実施内容：	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画とは何か、これから三芳町はどのような総合計画づくりを目指すか ・三芳町を取り巻く現状、町民WS第2回で出たご意見を説明 <p>①自分だからこそ知っている三芳町の現状と課題をワールドカフェ形式で話し合う</p> <p>②①のご意見を踏まえご意見や今後の行動アイデアをLiqlid上に書き込んでいただく</p>

※次世代リーダーミーティングは、39歳以下の町民を対象とし、オンラインツール Liqlid を活用してご意見をうかがいました。

※オンラインツール Liqlid については次世代リーダーミーティング後も町民からのご意見収集のツールとして活用しました。（詳細は本報告書 P3 に記載）

オンラインツールを活用したご意見聴取について

ワークショップへの参加者に加え、幅広い市民のご意見を収集するために、オンラインツール Liqid（株式会社 Liquitous 開発）を活用しました。

【Liqid とは】

Liqid は、オンライン上で、市民発のアイデア出しから、対話を通じたプロジェクトの共創、意向調査までを一気通貫で行う「市民参加型合意形成プラットフォーム」（書き込み型 Web サイト）です。パソコンのほか、スマートフォンからも閲覧、ご意見の書き込みが可能です。

今年度実施したまちづくりワークショップ、次世代リーダーミーティングにおいては、アイデア募集の機能を中心に活用しました。

【活用の概要】

次世代リーダーミーティングにおいて、アイデアの入力をオンライン上で入力していただきました。参加者個人の媒体からご意見を入力していただき、入力されたご意見をリアルタイムでご確認できるよう、PC 画面をプロジェクターに投影して活用しました。

また、まちづくりワークショップ参加者以外からもご意見をいただけるよう、三芳町 HP および三芳町公式 LINE、住民意識調査調査票にて URL を公開し、総合計画の施策分野に沿ってアイデアを入力していただきました。

まちづくりワークショップ第 4 回においては、参加者が Liqid 画面を確認できる環境で、まちづくりワークショップ参加者以外からのご意見を踏まえながら分野別ビジョンをご検討いただきました。

【延べご意見数】

次世代リーダーミーティング当日	39 件
三芳町 HP および三芳町公式 LINE による告知（11/20）～住民意識調査締切日（1/23）	135 件
	分野別合計
	①健康・福祉・子育て・食 34 件
	②居心地・伝統・みどり 20 件
	③つながり・交流・社会貢献 18 件
	④安全・安心・利便性・住環境・デジタル 42 件
	⑤仕事・産業・経済 16 件
	⑥生きがい・やりがい・教育・自分らしさ 5 件
合計	293 件
登録者	（管理者アカウントを含む参考値）83 名

※まちづくりワークショップ第 2 回でいただいたご意見を町が代理入力した件数は含んでいません。

3 各回結果詳細

第1回：三芳町ってどんなまち？

第1回では、三芳町のいいところ、好きなところを挙げ、今の三芳町はどんな幸せを感じられるまちか考えていただきました。

第 1 回	テーマ：	三芳町ってどんなまち？
	目的：	●今感じる三芳町の良さを改めて考える。
	実施内容：	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画とは何か、これから三芳町はどのような総合計画づくりを目指すか（幸せ・ウェルビーイングについて） ①三芳町の好きなところビンゴ ②ビンゴシートに書きこんだ三芳町のいいところを分類

【挙げられたキーワード】

自然・緑に関するキーワード		
自然が多い	令和の森（林）	上富の畑 地割
農業がさかん	砂川堀に沿って、歩くことが出来る（水の音をききながら）	四季を感じられる（桜、ほたる、さつまいも、花火）
（農地・山林）緑が多い	冬の青空が好き	畑
自然豊か 日本農業遺産認定 落ち葉堆肥農法の確立（伝統）	緑地公園 カブト虫 こぶしの里 ホタル	野菜（作物）などを育てる環境が多い
雑木林（緑が多い）	けやき並木	旧街道
緑が多い	ホタル	こぶしの里
富士山が見える	柳瀬川	いも街道
食に関するキーワード		
川越いも、さつまいも	工場販売	野菜がおいしい
里いも（ブランド）	菜の花	水道水が美味しい
食べ物がおいしい	給食がおいしい	うどん
工場直売所が多い	畑	
施設や建物に関するキーワード		
コピスみよし	中央図書館	旧島田家住宅
三芳インター	中央公民館	ベルク
役場庁舎が広い	役場の施設の充実さ	パサール三芳
ドッグランがある	ドラックやスーパーで、休憩する場がある	スーパー銭湯
新しいキッチンスタジオがある	三芳町総合体育館	ラーメン屋
三芳PA（スマート IC）	公共施設が多い	そば屋
中央公民館の音楽スタジオ	日常の買物がしやすい	

利便性・生活環境に関するキーワード

平地（坂がない）	下水道がほとんど入っている	人口がそんなに多くない
災害が少ない	鎌倉街道	水がうまい！！
藤久保地域の道路整備（都市整備）	舗装がきれい（悪い道が少ない）	田舎だけど都心に近い
東京都内へのアクセスの良さ	都心からのアクセスがいい	大規模な水害などが無い
医療が充実している	関越道	住みやすい
マンションが多い 東京への通勤の方が住みやすい	高速道路のアクセス	小さな町なので端から端までわかりやすい
治安が良い	スマート IC	交通の利便性
夜が静か		

文化に関するキーワード

こぶしの里	みらいくん・のぞみちゃん	教育に力を入れている（ICT 教育）
多福寺	みよしまつり	三富の開たく 上富・下富
車人形	文化財	伝統農法
旧島田家住宅	教育の充実（小・中学校）	

コミュニティ・地域づくりに関するキーワード

地元愛が強い	子供が元気に育った	住民と行政が近いところ
サンライトマンション（隣人）	ゴミ問題に関心のある人が多い	

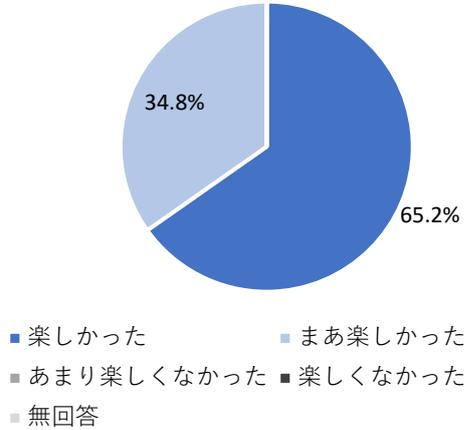
【三芳町で感じられる幸せ】



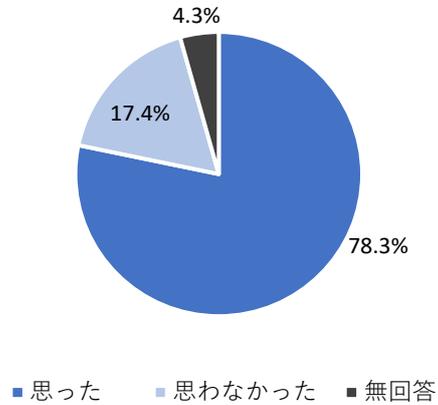
【参加者アンケート結果（回答数 23 件）】

- ワークショップについて「楽しかった」「まあ楽しかった」の合計が 100%
- ワークショップを勧めたいと思った割合が約 8 割

本日のワークショップは楽しかったですか。



このワークショップを誰かに勧めたいと思いましたか。



●感想など代表的なご意見

- ・自分の知らない三芳町の魅力をいくつも知ることができました。また、自分が知っている魅力を伝えることができ楽しかったです。今までこのような回に参加したことはなかったのですが、できて良かったです。次回も楽しみです。
- ・三芳町の新しい発見があった。いいところを見つけられた。切り口により考え方が変わることがある。
- ・年代、性別の違う方との意見交換は新たな発見があり、視野が広がると思いました。
- ・三芳のいいところについてみんな同じようなことを思っていた気がします。
- ・自然な雰囲気から生の声をききたいワークショップという印象を受けました。しかし、運営側から何か知りたい！みたいな方向性があると応えやすいかも。
- ・「日常」をふりかえり、良いところを出すことはとても新鮮でした。ありがとうございました。
- ・より多くの方々に参加いただくと良いと思いました。

第2回：未来の三芳町を想像しよう！

第2回では、三芳町の現状と課題を挙げたのちに、現状と課題を踏まえた町の未来について考え、ご意見を分類していただきました。

第2回	テーマ：	未来の三芳町を想像しよう！
	目的：	●三芳町の現状と課題を挙げる ●現状と課題を踏まえ、起こる未来を想像する
	実施内容：	・三芳町を取り巻く統計データ等を用い、現状を説明 ①三芳町の現状と課題をワールドカフェ形式で話し合う ②①で出たご意見を踏まえ、三芳町の未来に起こりそうなことを「ポジティブ/ネガティブ」「近い未来/遠い未来」の2軸で分類

【ご意見のまとめ】

- ・第2回の結果をまとめるにあたっては、第6次総合計画の体系で想定される6つの分野ごとにご意見を整理しました。第3回以降のワークショップでは、この6分野の班に分かれて班ごとに議論を進めていただきました。

【6つの分野について】

1：健康・福祉・子育て・食

(心身の健康づくり、医療・介護・子育て・福祉に関する事、食に関する事など)

2：居心地・伝統・みどり

(自然景観、都市景観、公共空間に関する事など)

3：つながり・交流・社会貢献

(つながりと感謝、近隣住民との関係、共同体への帰属など地域とのつながりに関する事など)

4：安全・安心・利便性・住環境・デジタル

(買い物・移動など地域生活の利便性、町政への信頼感、災害・事故・犯罪のない安心、娯楽、デジタル化に関する事など)

5：仕事・産業・経済

(雇用・所得に関する事、産業に関する事、事業創造など)

6：生きがい・やりがい・教育・自分らしさ

(スポーツ、文化芸術、教育、多様性などに関する事など)

①健康・福祉・子育て・食

ポジティブな未来	ネガティブな未来
特産品が多くなる（農業）	親の介護により若い人が仕事をつづけられなくなる
地産地消の食環境	高齢者支援の不足
三芳町のブランド化（いも）	子供の環境を整える
子どもに若者に優しい町（女性にも）	学校、保育所 子育て支援の縮小
ゆりかごから墓場が過ごせる町	子育てしやすい町行政
おいしい野菜を食べられる 工夫	
子育ての環境整備	

②居心地・伝統・みどり

ポジティブな未来	ネガティブな未来
みどりの多いまち（Co2 吸収、温暖化対策）	緑の減少
緑の保全を大事にするまち	住宅地増えない
新たな特産 竹間沢、あいぞめ	
緑を減らして人口増	
緑豊かな町として世界に誇れる町に	
水をいかした町づくり	

③つながり・交流・社会貢献

ポジティブな未来	ネガティブな未来
町民同志のコミュニケーションの場作り	ご近所つきあいが少なくなる
元気なあいさつができる	近隣住民とのコミュニケーション不足
困る人が増えると共通の困り事になって、みんなで助け合うようになる	高齢化が進み、人が集まるイベントがなくなっていく（=コミュニティの減少）
子どもの見守れる人が増える	井戸端会議がなくなりそう
困った人がいたら助けられる	人間関係がうすくなりそう
	となり近所の住人の顔が分かりづらく…
	自治会を持続するのが難しそう

④安全・安心・利便性・住環境・デジタル

ポジティブな未来	ネガティブな未来
マンション建設による人口増加	インターからの車が町を通りぬける →あぶない
藤久保拠点地域のまちづくり（図書館、学校）複合施設の建設	ボールを使った遊びの出来る公園がないため 第2の大谷は生まれそうもない
町としてのこる	買い物難民がふえる
財政力（安定）	若者の都心部へのまち離れ
道路が整備される	財源の減
EV や自動運転	高齢者の孤立（交通の不便）
交通便をふやす	交通手段がなくなる、車を手ばなす
道路を広くしてほしい	人口減少、空き家増える
スマートインターの整備で便利になりそう	公園、あそび場がなくなる
町のままだ良い事！	三芳町の HP が充実しない
住みたいと思える町の建設	町のことがわからなくなる
学校が減る→活用できる施設が増える	駅周辺のみで全てが完結するまち
コンパクトな町になりそう（公共施設を住宅地へ集約）	基本構想が、ひとつ（3つ）ではないので中途半端な町
超高齢化 移動手段の多様化	道路がせまい
交通手段の整備	若年層町外へ転出
高齢者の見守り等対策	移動手段の減少
人口減とあるがマンション等の建立により増に転じるのでは	高齢者がふえる→出かける手段がない→認知症がふえる
	商業施設の減少
	安心安全きれいな街
	収入 税金 減少
	スマート IC で物流倉庫だらけ
	公共交通の充実
	道路拡張
	交通事故増 ※他市町村に比べて
	町に関心を持つ人・協力してくれる人が減る
	上富の”今”が分からない
	町役場の DX 化推進

⑤仕事・産業・経済

ポジティブな未来	ネガティブな未来
お菓子屋の工場がふえる	観光場所が少ないところ（農業人口の減少）
竹間沢の開発	休耕地の増加
観光を生かした町になりそう	農家が少なくなる
クラインガルテン・農業地	働きたいのに働けない
	共働きが減少

⑥生きがい・やりがい・教育・自分らしさ

ポジティブな未来	ネガティブな未来
一人ひとりの教育充実	子供が少なくなる 学校がへる
住民一人一人が生きがいをもった町	少子化で学校の統廃合
教育支援 ・子育て ・メンタル面	教育拠点が藤久保にかたよっている
子どもの国際交流の機会ふえた	小学生の相対的なレベルダウン
町に滞在する人が多くなる	
高齢化で→活躍する人増	

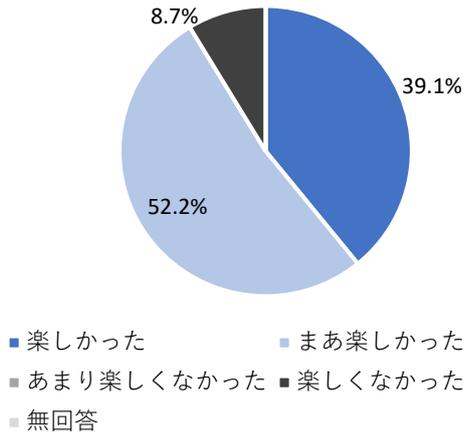
⑦町政全体について（6つの分野に分類できないもの）

ポジティブな未来	ネガティブな未来
意外と現状に困ってないかも…	さらなる人口減少
地域の特色を生かす（上・北・藤・竹）	少子化
若者にとっての魅力あるまちづくり	高齢化
楽しい事が起こりそう	子供の数が減少する
	人口が減少 特に上富
	若い世代が減る。
	竹間沢が話題にあがらない
	町内の地域格差
	近隣の市への転居者増

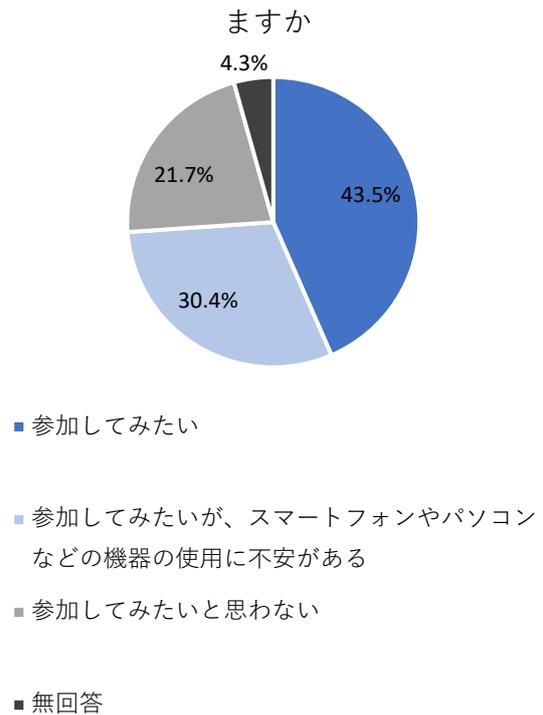
【参加者アンケート結果（回答数 23 件）】

- ワークショップについて「楽しかった」「まあ楽しかった」の合計が約 9 割
- ワークショップを勧めたいと思った割合が約 6 割
- オンラインツールを活用した意見収集に参加してみたいと答えた割合は約 7 割

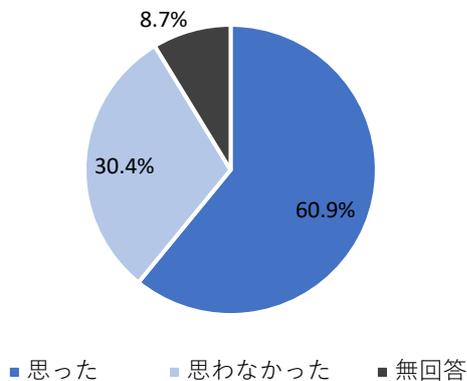
本日のワークショップは楽しかったですか。



オンラインのツールを使った意見募集に参加してみたいと思いますか



このワークショップを誰かに勧めたいと思いましたか。



●感想など代表的なご意見

- ・自分のもっていない新しい意見を知ることができて、発見がありました。
- ・リラックスしてはなしができてよかった。
- ・人と会話をするのは楽しいことだと思いました。子どもにもわかる内容の構想を希望します。
- ・何を目的にしているのか良く分からなかった。町の情報がうまく入ってこない。
- ・ワールドカフェ形式ではなく同じメンバーで進めた方が2つめの話題につなげやすいと思いました。
- ・世代別でやった方が盛り上がりそう、もしくはテーマ別。

第3回：未来の三芳町を描いてみよう！

第3回では、各分野で「より多くの住民が幸せを感じられる暮らしを実現するために、この分野ではどんなまちを目指すべき？」という課題にこたえるため、「幸せを感じられる暮らし」が実現した際のイメージ、「幸せを感じられる暮らしが実現するために必要な取り組みについて挙げていただきました。

テーマ： 未来の三芳町を描いてみよう！	
第3回	目的： ●将来ビジョンの提案に向けて、各分野におけるキーワードを考える
	実施内容： <ul style="list-style-type: none"> ・町の未来に影響を与える社会状況について説明（気候変動、SDGs、デジタル化の推進等） ・6つの分野に分かれ、各分野において「この分野ではどんなまちを目指す」と、より多くの住民が幸せを感じられる暮らしが実現するか」について検討 ①各分野で幸せな暮らしが実現するために必要なことは何かピックアップし、グループ分け ②どんな取り組みが必要か検討

【各班のご意見まとめ】

- ・ご意見を箇条書きでまとめています。
- ・項目分けについて、基本的には表で区切って示していますが、複数の項目に該当する箇所は区切りを点線で示しています。

※分野ごとにグループ分けやご意見の出し方は少しずつ異なっています。各分野に沿ったまとめ方をしています。

①健康・福祉・子育て・食

項目	未来の幸せな暮らしのイメージ	実現させるための取り組み例
食や農	<ul style="list-style-type: none"> ・農地を守る支援 ・町民が肥料作りに参加して有機野菜を食べられる ・給食が有機野菜 ・地元の食材でおいしく健康に！ ・地元産の野菜が食べられる（安心） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップで有機野菜の良さを広める ・貸農園 貸庭
機会づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ガーデニングで美しい町作り ・有機野菜作りで体を動かす機会を増やす機会、場所作り ・スポーツのイベント（体を動かす）の誘致、充実。 	
スポーツ・健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設へのアクセスが良い ・どの世代もスポーツにふれあえる ・歩きやすい町 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの本数を増やす ・道を良くする

項目	未来の幸せな暮らしのイメージ	実現させるための取り組み例
	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい景色のある町 ・歩きたくなる町 ・サイクリングしやすい町 ・サイクリングしやすい道 	
障害者、高齢者に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいを感じないまち ・介護生活になっても楽しく過ごせるシステム作り ・高齢者の施設、ふれ合う場所の提供、充実 ・整えられた介護環境 ・介護に至らない高齢者への支援 ・お年寄りが生きがいをもちつづけられるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいをネガティブにとらえない教育、抱えないようにする教育
支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「困ったな、とりあえず役場に相談してみよう」と思える人が多い町。相談窓口の充実 ・支援が必要な人を取り残さない 	
助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・外に出たくなる、ひきこもりをなくす ・たすけあい、まなびあい、よろこびあえるまち ・高齢者が多くなる中、若者離れとならないよう、町のイベントの充実による、観光拠点をつくる ・世代を越えた助け合い 	
安全	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺のパトロールによる、防犯の充実（官民住連携） 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺をパトロールする回数を増やす
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・整えられた子育て環境 保育園～学童まで ・保育施設の充実による、子育てのしやすい環境づくり ・子供が遊べる公園の充実 ・子供が自由に遊べる場所 ・みんなで子育てするまち ・子育ての不安や悩みをみんなで話し合える 	<ul style="list-style-type: none"> ・学童期に入った時の変化を吸収できるシステム（施設間にギャップあり） ・お年寄りと子供がふれあう、放課後子ども教室（例、志木） ・オンライン、ワークショップで、色々な世代が集まって交流する
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て～教育までの一環した支援 ・子どもが楽しく勉強できる ・安全で快適な教育環境の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 教材を活用 町が楽しいコンテンツを提供する ・教育施設の空調トイレ、設備系の充実

②居心地・伝統・みどり

項目	未来の幸せな暮らしのイメージ	実現させるための取り組み
ひと	<ul style="list-style-type: none"> ・若者がお店をやりやすくなる ・人と気軽に話せる環境 ・高齢者と子どもがふれあえる街 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育 ・コミュニケーションを取れる場所づくり
みどりの課題	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地が増えない(?) →土地不足? →高齢化は? 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを減らす取組 ・公園を増やす→戸建てを売却し土地を得て、公園に。その分、マンション増やす ・家と家の間隔
みどりを まもる	<ul style="list-style-type: none"> ・みどりを管理する方法を受けつぐ ・緑(林、畑、街路樹、私有地)の保全 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・林→町有、国有、私有、団体保有 ・みどりを守る 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・畑→私有(農家(個人、法人)) ・農家の保存 	<ul style="list-style-type: none"> ・畑 ・農地の転売、離農を防ぐため、農地を保有するデメリットをなくしメリットを ・農家への減税 ・農地を法人や他地域の農家に保有させる ・クラインガルテン
	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹→町有→道路、公園、保全林 ・緑を活かした開発 ・きれいな街並 ・安全に歩ける歩道 	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹を増やす→道路を広げる時に並木道に ・街路樹 ・工場と居住地を分ける ・工場の緑化
町のPR	<ul style="list-style-type: none"> ・「みどり」を誇りに持ち町の特産物として世界へ ・特産品のPR ・新しい特産 ・地産地消の食環境 ・水→町づくり ・藍染 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場(農地や緑を観光するための) ・イベントに出店(都心) ・道の駅みよし

③つながり・交流・社会貢献

項目	未来の幸せな暮らしのイメージ	実現させるための取り組み
全体に必要		<ul style="list-style-type: none"> ・企業とのつながりが必要 ・情報発信
世代間をつなげる	<ul style="list-style-type: none"> ・困る人が増えると共通の困り事になって、みんなで助け合うようになる ・つながるメリット、楽しさ ・地域のたてわりをなくす ・世代間につながり ・若者をとりこめるのか ・子どもとかかわる小学生と高齢者 	<ul style="list-style-type: none"> ・全世代が交流（集まれる）取り組み
集いの場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・町民同志のコミュニケーションの場作り ・自然なつながり（コミュニティ）をしかける？ ・集まれる場所をつくれるのか ・商店街がない ・大きな公園ない ・活気がある地域（まち）づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を活かすため、地域面での集える場 ・学校の空き教室の活用 ・拠点づくり
助け合い	<ul style="list-style-type: none"> ・困った人がいたら助けられる ・ささえあい ・まわりの人とのつきあい方 ・貢献→他者の為から自分の為 ・地域での見守りはどうする？ 	
コミュニティ、人と人の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・元気なあいさつができる ・コミュニティ ・コミュニティの取り方が変化 	

④安全・安心・利便性・住環境・デジタル

項目	未来の幸せな暮らしのイメージ	実現させるための取り組み
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・住んでよかったと思える町 	<ul style="list-style-type: none"> ・家を構えやすい 定住しやすいまち ・若者のまち離れ ・開発区域と緑の共存 ・車の道路と人の歩道の分離、充実→歩いて楽しい道 ・道路整備（インフラ） ・道路がせまい ・社会教育の充実 ・自立、自律できる青少年育成 ・学校施設整備（公共施設整備）
安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全なまち作り 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的弱者（老人、女性、子ども）対策 ・犯罪のない街づくり（ex 空家をなくす…） ・災害に強い（地震など）
	<ul style="list-style-type: none"> ・だれにも優しい町づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもがのびのび遊べるまち ・子育てに優しい町づくり ・健康増進対策 ・高齢者の孤立対策
DX	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中の DX 化 ・町の DX 化推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・町の DX 化 ・空き地、空き家への利用がしやくすく→デジタル管理とアクセスのしやすさ ・申請のデジタル化 ・スマホ etc の通信料金の低額化 ・公共交通手段より個人対個人からの移動手段確保 ・好きな時にバスに乗れる
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・だれもが安心して利用できる交通手段の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便 ・交通弱者対策 ・移動しやすい 高齢者が外に出やすいまち ・公共交通の充実 ・町内の交通機関 ・交通の利便性
スマートインター	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートインターの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートインター、パーキングは外の人からの認知のきっかけになる ・スマートインターの活用 ・企業誘致による財政力の安定

⑤仕事・産業・経済

項目	未来の幸せな暮らしのイメージ	実現させるための取り組み
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・循環する農とみどりの維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・平地林の利活用 ・休耕地の利活用（そば、菜の花） ・集約型農業 ・三芳のいもはブランドとして定着してきているが、第一次産業が主、付加価値をつける工夫をする
観光・商業	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいといこい、みどり、交流 ・心豊かに暮らせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行帰りの憩いの場 ・ちょっとしたおもてなしができる場（カフェとか） ・観光の活性化（農業遺産、いも街道）休める場所 ・観光は名所だけではない。これからはゆったり過ごせる所、平地林の散策+お休み処+グリーンベルトなど ・観光農園化 ・スマートインターと農業をからめた散歩道等の観光 ・スマートインター付近を市街化する ・インターを活用して、人の流れを町に入るしくみをつくる ・事業所でなく店舗の出店により特産品の販売
仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方の多様性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・昼間人口の方が多いうのは、働く場はあるということ。働いている人が三芳に住める環境をつくる ・職住近接 ・竹間沢地区 川越街道に面した区画整理、工場の誘致 ・企業を呼んで雇用を創出する ・大きい企業の本社を呼ぶ！ ・共働きは今後の潮流。働きやすい環境をつくる ・働く時間が限られている人のための職場 ・高齢者が働ける場、障がい者、外国人 ・便利になって工場や職場が増える ・起業サポート（起業家たちの集いの場、コワーキングスペース、情報の集約）

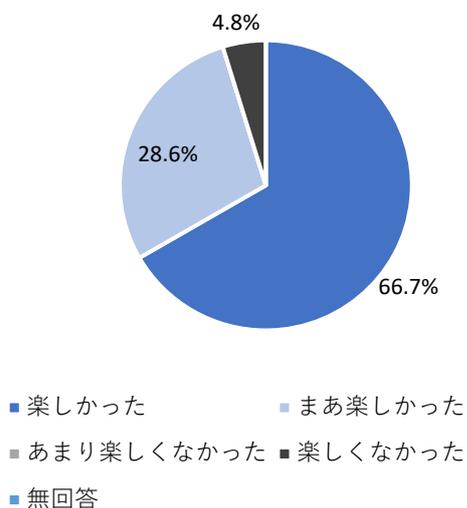
⑥生きがい・やりがい・教育・自分らしさ

項目	未来の幸せな暮らしのイメージ	実現させるための取り組み
		<ul style="list-style-type: none"> ・三芳町 マイナス→閉鎖的 →プラス独自性
自分らしさ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさ ・ジェンダー、性別、年齢 ・自己決定権の尊重 ・不易と流行 	<ul style="list-style-type: none"> ・助け合い、マッチングサイトがあれば掲示板 ・町の中で助け合い、人とのつながり、所属している集団でのハードルがある ・企業とのコラボ
デジタル化	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化の格差をなくした多様な学び（不登校支援、一人ひとり教育の充実） ・デジタル化できない部分取りこぼさない、アナログも大事 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルのコミュニティ、物理的なコミュニティの両輪 ・ネット、物理的な課題はある。その支援は必要。ただ、アナログ的なベースがあるから利便性がわかる
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・教育（学校、地域）自分の住んでいる街を知る。生きがい、やりがい、自分らしく働いている人 ・ストレスのない学校 	
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援（教育、メンタル、施設、働き場所） ・子供の居場所 ・子どもを見守れる人が増える（子どもの環境が安全、安心、ヤングケアラー、貧困…） 	
生きがい・やりがい	<ul style="list-style-type: none"> ・生きがい、やりがい、誰かのために、支えあえる支援 ・世代の交流 ・身近な居場所 ・町民サークル ・教育拠点が偏らない。施設、学ぶ環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・社協の役割 ・サークル支援にとどまらない居場所 ・人の力、生きがい、感謝、活躍の場 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・居場所、助け合い、世代間交流、生きがい、未来が見える ・集会場の活用 ・高齢化、身近な場所、歩いていける場所 ・自治会の活性化、集会場の活用、災害時

【参加者アンケート結果（回答数 21 件）】

- ワークショップについて「楽しかった」「まあ楽しかった」の合計が 9 割台

本日のワークショップは楽し
かったですか。



● 感想など代表的なご意見

- ・ まちの DX 化についての世代問わず似た感覚があった。世代差があるトピックかと思っていたが、そうでもないと驚きました。
- ・ 課題は違えど、取り組みは共通のことが多い。
- ・ 意見交換をする中で、町の将来を考えることができました。ありがとうございました。
- ・ 議論がおもしろかった。楽しかった。こういう機会を作ってくださいありがとうございました。
- ・ 同じ興味のある方の意見を伺えて参考になりました。
- ・ 保育を利用できてありがたかった。
- ・ 今後も続けてほしい。

第4回：理想の三芳町を提案しよう！

第4回では、各分野で「幸せを感じられるまち」とはどんなまちか、またその実現に向けてどんな取り組みが必要かについて考えていただきました。

第4回	テーマ：	理想の三芳町を提案しよう！
	目的：	●将来ビジョンを各班で検討し、提案する
	実施内容：	①第3回の結果を踏まえ、「幸せを感じられるまち」につながるキーワードを挙げる ②「〇〇なまち」ということばにまとめ、ワークシートに記入 ③「〇〇なまち」の実現に向けて、自分が町長ならどんなことに取り組むか。

【分野別ビジョン案の検討結果】

①健康・福祉・子育て・食→元気で笑顔あふれるまち

<p>～こめられた思い・キーワード～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で過ごせるのは健康で幸せに暮らしているということ ・食や健康づくりも福祉につながる ・食の魅力を活かす

【充実させたい取り組み】

<p>地産の食材で、給食を楽しく食べてもらう 安全な食育、子どもの体に合った食材アレルギーの子ども 食と健康で支援が必要な人を減らす みよし野菜で健康づくり みよし野菜を学校給食で提供 保育施設・高齢者施設で提供 健康第一、どこの場所でもラジオ体操が出来る</p>	<p>予防医療につながる検診の充実提供 予防医療の知識を深める場をつくる 介護予防のための情報周知 現在の支援が本当に支援として充分なのかを見直し、利用者目線に立った支援の提供 時代に合った保育サービスの提供・学童、保育園などの預かり時間、ルールを現代向けに 時代に合った福祉サービスの提供 支援施設の人材確保、スキルアップ 支援をわかりやすく周知する ゆりかごから墓場まで途切れない支援 肩をたたいて、あいさつするまちにしたい 高齢者の集まりを沢山作る 障がい者の方の歩きやすい道</p>
<p>誰もが（子供、高齢者）気軽に寄れる公園の整備 公園へのアクセスの充実、行きたくなる公園作り 遊べる公園をつくる、小さい空き地は公園じゃない！ボールあそびできるレベルに！</p>	

②居心地・伝統・みどり→**ぽかぽかなまち**

～こめられた思い・キーワード～

- ・人のあたたかさ、距離の近さ
- ・町のみどり＝平地林、平地林を守っていく
- ・マナーが守られている＝暮らしやすい

【充実させたい取り組み】

きれいな街 ゴミのない街 マナーのよい街	まつり ぼんおどり・花火、おはやし・車人形
みどりをふやす 緑化の推進 みどりをまもる 現在ある雑木林の保全を進める	ゆずりあいの心をはぐくむ 相手を尊重する 相手を尊重できる
たすけあい 困っている事を気軽に言える	

③つながり・交流・社会貢献→**楽しく暮らすまち**

～こめられた思い・キーワード～

- ・住民と行政の協働
- ・あいさつ、近所付き合い、交流の活性化
- ・身近なところで交流できる楽しさ
- ・趣味、年齢など共通点のある人と関われる楽しさ
- ・気軽に参加できる場所がある楽しさ

【充実させたい取り組み】

東屋やベンチを増やす NPO コミュニティビジネスの推進 住民と行政の橋渡しをすとりくみ（担当課つくる） 住民のやりたい事を後押しする 住民とたわいない話をする 空き家を地域活動の拠点にする 学校のあき教室を開放する 交通網を豊かに。 行動してくれる住民を見つける。

④安全・安心・利便性・住環境・デジタル→つながるまち

～こめられた思い・キーワード～

- ・デジタルの力でつながれること、また、全世代がつながれることによって安心・安全なまちへ
- ・デジタルの利便性がどんな人にも伝わる安心感
- ・街並みがきれい、ごみがない、自然災害が少ないなどにより暮らしやすさにつながる

【充実させたい取り組み】

<p>高齢者と保・幼・小の交流活性 子ども議会、長期運営化、政治参加が日本一早いまち。 空き家利用、間借りのデジタル管理、3クリックで使える！ 高齢者の活用で生きがいをつくる 行政手続き簡素化 企業オフィスを構えやすいまち 観光拠点を作る 災害時連携計画の見直し（近隣市町村との連携充実） 移動手段多様化 高齢者にも分かるDX講座の実施</p>	<p>若者の政治参加 町議会発言 twitter 速報 災害時中・高生の活動や場所を入れた防災計画 長期休業中に小中学生に働く経験を 各地区の特性を生かしたまちづくり 地域で子育てするまち 公民館事業活性化（コミュニケーション作り） 地域の中で若者の活役できる場面を 健康なまち バスなど公共交通機関の充実（官民・連携） 定住しやすい 孤立対策 助け合いのまち SDGs 推進するまち</p>
--	--

⑤仕事・産業・経済→トカいなかなまち

～こめられた思い・キーワード～

- ・緑を大切にしつつ、都会的な文化も味わえるまち
- ・都会との距離感のほどよい「町」である魅力を活かす

【充実させたい取り組み】

<p>平地林を守る 農地を守る 6次産業の推進</p>	<p>倉庫を増やし、仕事の場を増やす 市に成る数の手前まで人口（若者）を増やす市街化（外国人も含む） 広報に町内の求人募集を入れる 三芳ICの近くに「高速の駅」（道の駅）を作り、知名度をUP。「角上」等を入れ魚や肉も 小中学校を集中させ、スクールバスを運行し、日中は町民が利用 都会に近い「田舎」をアピール出来る町造り</p>
<p>観光農園を作り、名所とする スマートインターで有名になる</p>	

⑥生きがい・やりがい・教育・自分らしさ→誰もが自分らしくつながり憩えるまち

～こめられた思い・キーワード～

- ・自分らしく活躍できる居場所がある
- ・地域の企業や公的機関などがつながりあって実現する

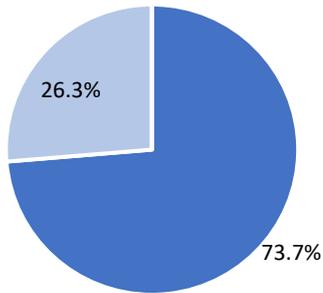
【充実させたい取り組み】

<p>子ども・子育てを応援する機関づくり 若年層に対する生きがい、やりがいを醸成する 仕組み作り 若者の活躍、事業づくり、小・中学生、高校生、大学生 人材のほりおこし、活躍できる（専門性を生かす etc）</p>	<p>公共施設に少なくとも1室は憩いの部屋を設ける 居場所づくり、ハード・ソフト（世代を越えて） 集会所を外装・内装リニューアルしてカフェ風に 道の駅、地域の特性を生かせる</p>
<p>教育と医療、連携 企業と連携 各産業などの協力を得てそれぞれの得意分野で 憩えるまちの実現化をする 学校が地域のプラットフォーム</p>	

【参加者アンケート結果（回答数 19 件）】

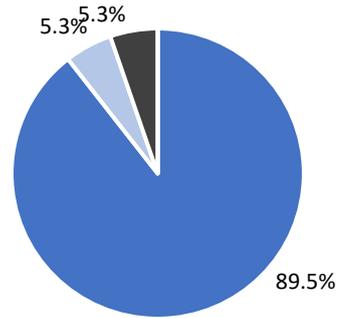
- ワークショップについて「楽しかった」「まあ楽しかった」の合計が 100%
- 町民参画機会に参加してみたい割合は約 9 割

本日のワークショップは楽しかったですか。



- 楽しかった
- まあ楽しかった
- あまり楽しくなかった
- 楽しくなかった
- 無回答

今後も町政に対する町民参加の機会があれば、参加してみたいと思いますか。



- 思う
- 思わない
- わからない
- 無回答

●感想など代表的なご意見

- ・ワークショップの進め方がおもしろかった。色々な人と話して視野が広がった気がした。
- ・三芳町への今後の取り組みに関する意見を提案させていただき、また、住民の方とも意見交換ができ、充実したものとなりました。新しい発見もあるため、またこのような場があれば参加させていただきたいと思います。ありがとうございます。
- ・自分では気づかなかったまちの良いところ、悪いところに気がつけて良かったです。
- ・住民の自発性を育てるしくみが必要と感じました。どのグループにも共通したワードがあるので、それぞれの意図を加味しながら計画ができると良いなと思いました。
- ・討論ではなく意見交換は良かったが、言いっぱなしでまとめるのが難しい。
- ・楽しく話げたのがよかった。

次世代リーダーミーティング：未来に向けたアクションを考えよう

次世代リーダーミーティングでは、若い世代の視点から見た三芳町の現状と課題を自由に話し合っ
ていただき、現状と課題を踏まえた行動アイデアを挙げていただきました。

次世代リーダーミーティング	テーマ：	未来に向けたアクションを考えよう
	目的：	<ul style="list-style-type: none"> ●若手の視点から見た三芳町の共有 ●若手リーダー同士のつながりづくり
	実施内容：	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画とは何か、これから三芳町はどのような総合計画づくりを目指すか ・三芳町を取り巻く現状、町民 WS 第2回で出たご意見を説明 ①自分だからこそ知っている三芳町の現状と課題をワールドカフェ形式で話し合う ②①のご意見を踏まえご意見や今後の行動アイデアを Liqid 上に書き込んでいただく

【ご意見まとめ】

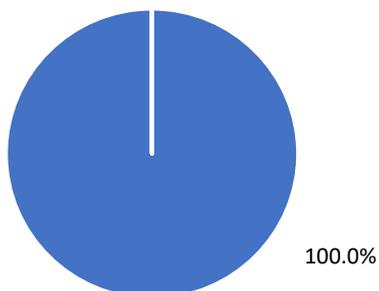
特産品を贈る	三芳町といたら"これ"ってものを作る
三芳野菜を買う	
有名人の力を借りて三芳町の知名度アップ	歩道の整備
(三芳野菜等が自慢で美味しいと人気だという) 給食を小学生以外も食べてみる	規格外野菜を活用したスイーツやお弁当を販売する
いも街道までのアクセス改良のために無料(もしくは安価)で人を運べる交通の充実を	土地を活かした事業(道を広げる、道を増やすなど)
町内を歩いてみる	交流出来る場を作る
自分がいろんな世代の人の立場になって三芳について考えてみる(子供の視点、母親の視点、高齢者の視点など)	生まれ育った人、子育て世代で入ってきた人、交通の便を求めて駅前等に住んでいる人、など…世代や立場も違うと価値観もニーズも違うので意見交換、情報共有の場があると良い!
バス少ないとか駅ないとかネガティブな意見より、『車があれば便利な町』を前面に PR!	散歩道を整備してあるので積極的に PR していく
ふるさとワーホリ (三芳の人との関わり&農業との触れ合い→移住の可能性も?!)	おしゃれな道の駅で、地域物産を使ったスイーツとかあるといいですね
地域の小中学生が農業や環境について興味を持てるようなイベントを開催する	スマート IC 付近に地産地消できる道の駅をつくる
ライフバスの本数を増やし、(いも街道付近へのアクセス)IC カード系が使えるようにするよう に町を通して意見を言ってもらう	外部からもお客さんを呼べるように外の駐車場増やしたいですね
兼業農家の積極的な募集	ホテル!

いも街道のおいも農家さんへの入口をもっとオープンに	他の市などでやっているレンタルの自転車なども導入を検討してもいいかも
住みやすさについて SNS を通じて PR(病院が多い、災害に強い、都心から近いなど)	広報を学生が見たくなるようなものにアップデートする
スマートインターを使って町の PR を	外部から来た人が泊まれるような場所(ホテル、コテージ、エアビがある?)
住みやすい町 (スーパー、病院、商業施設など多い)	最後の赤ちゃんのコーナーだけでなく、三芳の若者の取り組みとか活躍のような記事もつくる
「理想の家が買えるまち」で若い子育て世代に PR	広報誌以外にも、SNS 映えする写真を対外的に PR してくれる若い人を増やしたい!
町の人々が作ったスイーツをみんながよく行くスーパーなどに特設コーナーを作って売ってもらう	新しいマンションが建つエリアに保育施設や公園、町の PR ができるアンテナショップを整備
竹間沢のホタル	民泊とか、古民家を利用するのもいいですね
みんなが行きたくなる商業施設を作る	

【参加者アンケート結果 (回答数 21 件)】

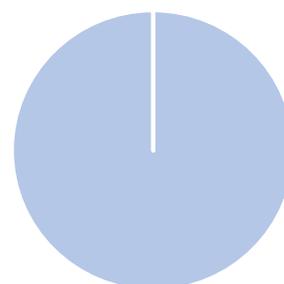
- ワークショップについて「楽しかった」が 100%
- Liqlid の操作について「操作が簡単だった」が 100%

本日のワークショップは楽しかったですか。



- 楽しかった
- まあ楽しかった
- あまり楽しくなかった
- 楽しくなかった
- 無回答

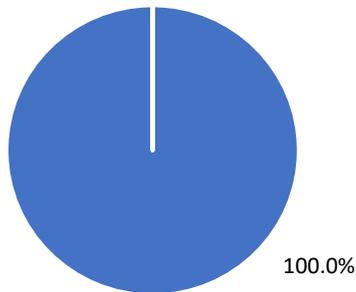
Liqlid の操作をしてみていかがでしたか。



- 操作が難しかった
- 操作が簡単だった

●Liqlid を通して総合計画づくりに「参加したい」が 100%

今後、今回使用したLiqlidを通して総合計画づくりに参加したいと思いませんか。



■ 思う ■ 思わない ■ わからない ■ 無回答

●感想など代表的なご意見

- ・夫婦で参加したい方などのために、子どもを見てもらえるのをもっとアピールして開催してもいいと思いました。
- ・次世代リーダーミーティングということで、比較的近い世代の方が多かったので話しやすかった。意見交換をすることで、自分にはなかった新しい考え方を得ることができ、より視野が広がったような気がした。和やかな雰囲気だったので、緊張することなく参加することができた。
- ・他の人の意見を聞いて大変ためになったミーティングだった。新しい視点から三芳町のことを考えられた。今後活かしていきたい。
- ・自分にはない町の方の意見や若い方の生の声を聴くことができ、三芳町のポテンシャルを感じることができた。ポジティブ意見が多くて町の未来は明るいと思った。
- ・ワークショップという形で会話をしながら自由に意見（アイデア）を出すということで、気軽に言えるし、話しながらアイデアが浮かんでくることも多かったです。オンライン上でもできる意見交換ということで、Zoom 等 Web 会議形式でも行ったらより参加のハードルも下がりそうだなと思いました。

4 今後の結果反映について

今年度の住民参画事業の結果は、総合計画案の作成に反映します。

最終の第4回ワークショップのアウトプットとしてご提案いただいた各分野におけるまちの将来像（分野別ビジョン案）をもとに、将来像に基づく分野別の取り組みの柱となる分野別ビジョンを検討します。

また、次期総合計画の具体的な施策の検討についても、ワークショップの各回に頂いたご意見や、ワークショップ参加者に留まらないLiqlidにお寄せいただいたご意見を踏まえて、施策担当課が今後の方向性を記載する形式で実施します。

実際の総合計画への反映結果については、令和5年度に作成する住民参画事業実施報告書にて改めて報告いたします。